

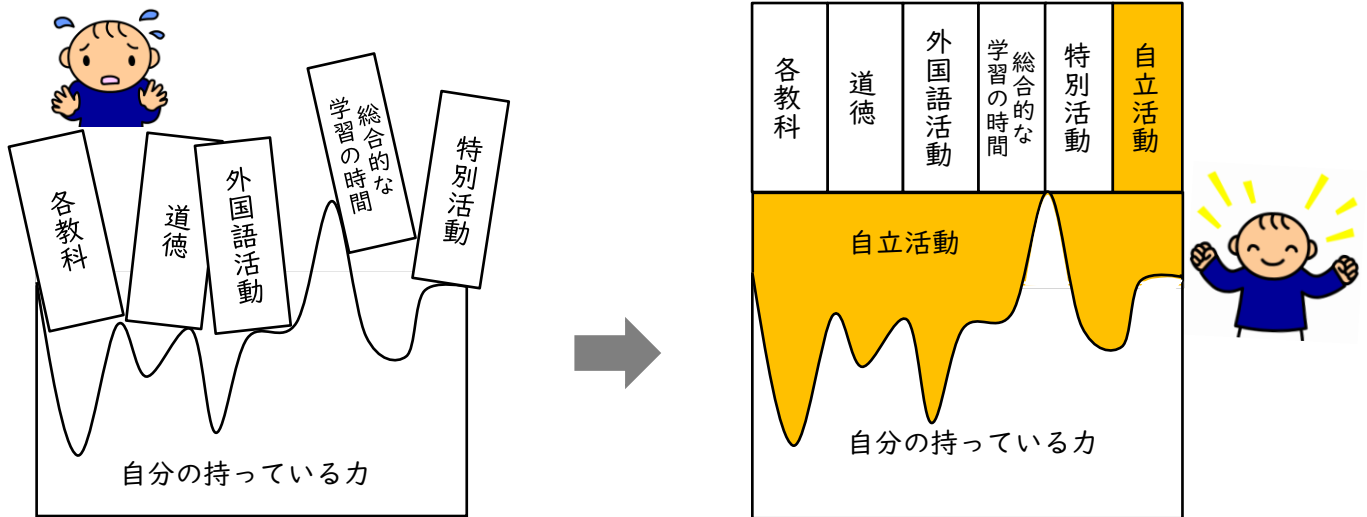


## ○自立活動とは？



「自立活動」の目標は、「個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。」と学習指導要領に書かれています。

障がいのある児童生徒は学習上・生活上の困難を抱え、自分の持っている力に大きな凸凹がある状態になっています。凸凹が大きい状態であると授業内容の理解が難しくなったり、授業や行事に参加することが難しくなったりしてしまいます。その凸凹を埋めて**学校生活の基礎となる土台**をつくるのが「自立活動」です。この土台が各教科や学校生活を支える役割を果たします。



【例】小学校・小学部の場合

## ○自立活動の内容

①健康の保持	①生活のリズムや生活習慣の形成 ②病気の状態の理解と生活管理 ③身体各部の状態の理解と養護 ④障害の特性の理解と生活環境の調整 ⑤健康状態の維持・改善	④環境の把握	①保有する感覚の活用 ②感覚や認知の特性についての理解（と対応） ③感覚の補助及び代行手段の活用 ④感覚を総合的に活用した周囲の状況について（の把握）と状況に応じた行動 ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
②心理的な安定	①情緒の安定 ②状況の理解と変化への対応 ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	⑤身体の動き	①姿勢と運動・動作の基本的技能 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ③日常生活に必要な基本動作 ④身体の移動能力 ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行
③人間関係の形成	①他者とのかかわりの基礎 ②他者の意図や感情の理解 ③自己の理解と行動の調整 ④集団への参加の基礎	⑥コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力 ②言語の受容と表出 ③言語の形成と活用 ④コミュニケーション手段の選択と活用 ⑤状況に応じたコミュニケーション

## ○自立活動の指導



自立活動の指導はいつしたらいいの？

授業時間を特設して行う「自立活動の時間における指導」を中心として、学校の教育活動全体を通じて行うこととされています。

- ①自立活動の時間における指導
- ②教育活動全体を通じて行う指導  
(学習場面や生活場面、全体で指導を行う。)



自立活動の指導形態は？

個別に指導目標や具体的な指導内容を定めた、個別の指導計画を作成し、個別の指導計画に基づいて指導します。

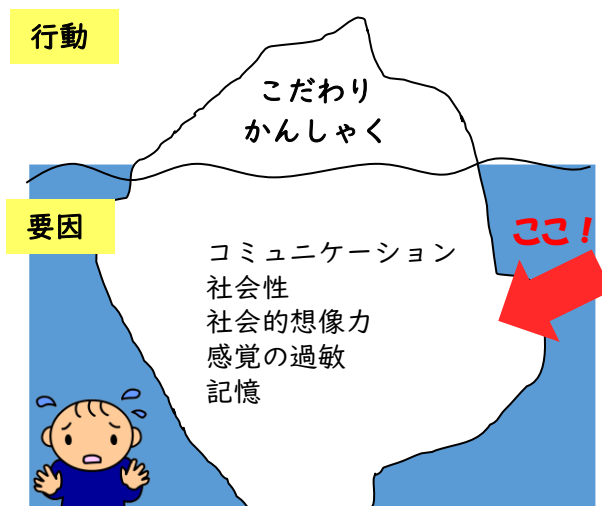
原則、**個別指導の形態**で行われることが多いですが、指導目標を達成する上で効果的である場合には、児童生徒の集団を構成して指導することも考えられる。



## ○自立活動の指導の考え方

冰山モデルの上に見えている部分は、実際に本人が困っていることに対して、問題行動として表れている部分です。しかし、実際には水面下に大きな部分があります。問題行動として表れている水面下にはこれだけ隠れた要因があります。

目に見えている行動に対する指導を考えるのではなく、水面下の**要因に対する指導方法を設定する**必要があります。



## ○自立活動の指導までの流れ

